



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。各保育・教育現場では、冬に向け、子どもたちの体調管理に注意をはらいながらそれぞれの活動を進めています。

各種発表会などで子どもたち自らが成長を実感する時期を迎え、寒い中でも充実した毎日を元気にすごし、地域の方々にも多くの場面で関わっていただいているところです。今月号においても町民と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

## しみず認定こども園

### 「楽しかった高校生との交流♪」

5月31日、清水高校の畑に植えに行ったサツマイモ。「大きくなったかな?」「いつ掘るの?」「焼き芋はいつ?」と、ずっと気にしていた子どもたち♪

10月25日に掘りに行ってきました!掘り残しが無いよう、土だらけになって夢中になって掘っており、大きい物を見つけると、とても喜んでいましたよ♪まるで宝探しをしているようでした♪

その後、高校生がハロウィンのかぼちゃをこども園に届けに来てくれましたよ♪なんと!ハロウィンにちなんだ仮装して来てくれました!子どもたちが大好きなスパイダーマンやトイストーリーのキャラクターに仮装しており、大盛



り上がり♪他クラスの子どもたちも、目をキラキラさせて見ていました♪

11月6日に焼き芋をご馳走になったのですが「今日はスパイダーマン居るかな？」と前回の交流を思い出し、とても楽しみにしていました♪「甘くて美味しい♡」「もっと食べたい！」と言いながら秋の味覚を堪能していました♪今年度5回目の交流ということもあり、すっかり心を開き膝の上に乗ったり、会話を楽しんだりしていました♪

高校生のお兄さんやお姉さんが優しく接してくれたので、子どもたちも毎回楽しみながら活動に参加しています！次回の交流が待ち遠しい子どもたちです♡



## 御影こども園

### さつまいも掘りとやきいも🍠

あさひ荘で6月に初めてのさつまいも植えを体験してから約4ヵ月。

10月になり、いよいよ収穫の時期を迎え、今度はさつまいも掘りの体験をさせていただきました。さつまいもに傷つけないよう、丁寧に掘ることを教わり、大きなさつまいもを一生懸命掘りました。

たくさん出てくるおいもに大喜びの子どもたち☆目をキラキラ輝かせていました♪

家に持って帰るさつまいもと園で行うやきいも用のさつまいもを大量にいただいて帰ってきました。さつまいもは、1ヵ月くらい寝かせると甘く、お



いしくなるということを教わったので、1カ月後にやきいもを行うことにしました。

自分たちで植えて、収穫したさつまいもだったので、やきいもができる日を心待ちにしていた子どもたち！

当日は、年長さんがさつまいもを洗い、新聞紙で包み、やきいもの準備をしました。

火を燃やすための落ち葉拾いも3歳以上児の子どもたちが事前に頑張っていたので、無事にホカホカで甘〜くておいしいやきいもができました♡

おかわりもたくさんして、大満足の子もたちでした☆

あさひ荘の皆さんありがとうございました！



## 清水小学校

### 今年もいい字が書けました

来年3月24日に行われる清水小学校第122回卒業式に向け、6年生が式場に掲示する四字熟語を条幅紙に書きました。今まで2月に行っていた書写授業ですが、行事日程の関係から今年度より11月に変更して行いました。

普段は使うことのない太い筆で、墨をたっぷりを使い、心をこめて堂々と力強く四字熟語をしたためました。

今年もたくさんの書写ボランティアの方々にお忙しい中、来ていただき、懇切丁寧に指導していただきました。字の大きさ、筆の始発の場所、とめ・はね・はらいの仕方など、普段書き慣れない条幅紙だからこそその書き方のコツを伝えていただきました。そのおかげで、どの子も全力を尽くした素晴らしい作品を仕上げることができました。





今年度は十勝こども作品展の書道部門で3年生以上で7人もの児童が賞をいただくなど、本校児童の書写力は確実に向上しています。これも普段からボランティアの方々にご指導をいただき、丁寧に字を書く習慣が身についているおかげです。

今後も子どもたちが書写について意欲・関心を高め、一筆一筆、魂

をこめた字を書き続けて欲しいと思います。

## 御影小学校

### 乗馬体験学習



9月26日に6年生が、10月11日に5年生が「森の馬小屋」様のご協力により、乗馬体験を実施させていただきました。

6年生は昨年度に続いて2回目、5年生は初めての乗馬体験となります。

この乗馬体験は、単に用意されている馬に乗せてもらう乗馬体験ではありません。

森に放たれている馬との信頼関係を築いてから乗馬するというものです。①はじめにグループごとに馬具を取り付け、②馬との信頼関係を築くため、ブラッシングや餌やりなどをし、③馬とのコミュニケーションを図ってから乗馬をします。

ここで馬とのコミュニケーションに時間が掛かってしまうと乗馬の時間が短くなってしまいます。

子どもたちは真剣な眼差しで馬に受け入れてもらおうと馬に話しかけながらブラッシングをしたり、馬が嫌がる場所はどこなのかを探るためブラシを掛けながら馬の体を撫でたりします。



どの子も最初は怖がっていたものの、だんだんと馬とのコミュニケーションを図るにつれて馬と人との距離が縮まり、子どもたちは目を輝かせながら馬に餌やりなどをしていました。

馬だけではなく子どもたちも距離を縮め、信頼関係が築けたところで、いざ、馬の乗り降りの仕方をレクチャーしていただきました。

レクチャー後は十勝千年の森近くの雄大な自然の中を馬に乗りながらの散歩。紅葉が進んできた日高山系を望みながら馬とグループの仲間と心を通わせながらの乗馬体験となりました。



この体験学習では、語らずとも「生きものへの畏敬の念」や「仲間と協働することの良さ」、「なにより御影の素晴らしい自然や人の温かさ」などを、子どもたちは自然と感じていたことと思います。

御影小学校では地域の皆様のご厚意により、子どもたちに地域のことを知る機会、その良さに触れさせていただく体験、そのことにより子どもたちが地域を想う気持ちを育てています。この「十勝清水学」は地域の皆様のご協力により進めております。

## 清水中学校

1・2学年 保健体育 柔道 11月12日～26日

1・2学年の保健体育の柔道授業は、外部講師の方に毎回1名のご協力をいただいております。専門的な部分のお話や細かい技術面での指導助言をいただくことができました。



## 3学年 家庭科「高齢者とのかかわり」 11月12日

家庭科の授業における「高齢者とのかかわり」について、ゲストティーチャーとして清水旭山学園の 鈴木 康功 氏をお招きし、ロールプレイングを交えながら授業を行いました。個人やグループで考え、全体に発表するなど活動の多い授業となりました。



## 御影中学校

### 「2学年職場体験学習」



10月24日2年生が清水町内の各事業所等で職場体験学習を行いました。

体験前には、事前学習として帯広信用金庫様より講師を招き「マ

ナー講座」を行い、礼儀作法や言葉遣い等、普段の学校生活を振り返りながら学習を深めました。



体験当日も、生徒は仕事の楽しさ、難しさ等を感じながら、緊張感をもちつつも、とてもよい表情で体験学習に臨むことができました。





清水町内の各事業所の皆様や地域の皆様には、生徒のために学習の場の提供とご指導をいただき、また、参加した生徒に対して励ましのお言葉をいただきましたことに心から感謝申し上げます。



#### 【職場体験にご協力いただいた事業所】

帯広信用金庫、清水赤十字病院、サツドラ十勝清水店、特別養護老人ホームせらぎ荘、えびすや菓子舗、フクハラ清水店、そば処農志塾、ごはん屋ゆめあとむ、ホクレン御影セルフSS、村上牧場、御影こども園、しみず認定こども園ぽっけ、清水町図書館、清水消防署、清水町役場

## CS 委員会

### 小中一貫教育の推進について話し合う

本年度第2回 CS(コミュニティースクール)委員会は、清水地区は10月29日に、御影地区は10月31日に、それぞれの中学校を会場に開催されました。

CS委員会は、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づくもので、清水町では6年目を迎えています。

まず、各こども園長及び各学校長から経営方針に基づく実践状況について、様々な取り組みにより子供たちが生き生きと生活している状況の説明がされました。



続いて、今回は清水町で現在推進しています小中一貫教育について、CS委員として何をなすべきかをテーマにグループに分かれ意見を出し合いました。まずは、現在の清水町での小中一貫教育の推進状況と各地区ごとの具体的な取り組みを確認し質問・意見後に、このことにより子供たちに身につけてもらいたいことは何か、小中一貫教育を進

めていくためにさらに取り組んだほうが良い点などの意見交換を行いました。

グループによる熟議の中で出された意見としては、学校では自立的に自ら動く

よう指導しているが家庭との共有が必要、異年齢での交流が必要で例えばスポーツ関係の体験入部も良い結果を生むのではないか、などが出されました。

清水町では、早くから進めている幼保小連携の取組があり、段差の解消を目的の一つとしている小中一貫教育の推進にあたって、小中学校の連携からさらに進めた9年間の子どもの成長を念頭に授業体験や教員相互の意見交換が進められているところです。

今回のCS委員会の意見交換は子どもたちの交流に目を向けた貴重な機会となりました。

